

## 電線・ケーブル事業

電線・ケーブル事業は、産業用・電力用ケーブル、巻線、機器用電線、配線部品等を主な製品としています。

### 2006年3月期の業績

当期の売上高は、前期比13.1%増の204,264百万円となりました。

産業用・電力用ケーブルは、2004年10月1日付けで高圧電力用ケーブルの販売事業を持分法適用会社である株式会社ジェイ・パワーシステムズに移管しましたが、主に建設向けや民間設備投資向けが好調であったほか、銅価上昇の影響等により、前期を上回りました。

機器用電線及び配線部品は、半導体製造装置やデジタル関連分野向け等が堅調に推移したため、前期を上回りました。

巻線は、自動車電装部品向けの伸長や重電向けの回復、銅価上昇の影響等により、前期を上回りました。

### 2007年3月期の市場動向と業績見通し

産業用・電力用ケーブルは、建設向け等が安定して推移し、当期並みと予想されます。機器用電線及び配線部品は、デジタル関連分野向け等が堅調に推移し、当期並みと予想されます。巻線は、自動車電装部品、重電向けを中心に伸長が見込まれ、当期を上回ると予想されます。



フレキシブルフラットケーブル(FFC)

## 情報通信ネットワーク事業

情報通信ネットワーク事業は、情報ネットワークソリューション(情報ネットワーク機器、光コンポートネット)、高周波・無線システム、通信ケーブル(光海底ケーブル、光ファイバケーブル、メタル通信ケーブル)等を主な製品としています。

### 2006年3月期の業績

当期の売上高は、前期比5.9%減の79,645百万円となりました。

高周波・無線システムは、携帯電話基地局工事案件の増加等により前期を上回りました。

通信ケーブルは、国内通信事業者向けの陸上用光ファイバケーブルが低調に推移したこと等により、前期を下回りました。

情報ネットワークソリューションは、通信事業者向け及び民間・公共関連市場向け等が低調に推移し、前期を大きく下回りました。

### 2007年3月期の市場動向と業績見通し

情報ネットワークソリューションは、今年度後半に通信事業者向け需要の回復が予想されるとともに、民間・公共関連市場向けでセキュリティ関連等のソリューションメニューの拡充によるイーサネットスイッチや、ワイヤレスIP電話機等のVoIP関連製品の需要拡大が見込まれるため、当期を上回ると予想されます。

通信ケーブルは、陸上用光ファイバケーブルの販売事業を株式会社アドバンスト・ケーブル・システムズに移管したことにより、当期を下回ると予想されます。高周波・無線システムは、携帯電話基地局工事需要が一段落することにより、当期を下回ると予想されます。



WirelessIP5000

## 高機能材料事業

高機能材料事業は、化合物半導体、自動車用部品（ホース、センサ等）、半導体用パッケージ材料（TAB、リードフレーム）、伸銅品（銅管、銅条、電気用伸銅品）等を主な製品としています。

### 2006年3月期の業績

当期の売上高は、前期比13.8%増の160,278百万円となりました。

化合物半導体は、主に光ディスク向けのレーザーダイオード用が低水準で推移し、前期を大きく下回りました。

銅管及び電気用伸銅品は、主に銅価上昇の影響等により前期を上回りました。

銅条は、デジタル関連分野向け需要が回復基調に向かったことと、銅価上昇の影響等により前期を上回りました。

TABは、大型液晶パネル向けのCOF(Chip On Film)が大きく伸長したほか、高速メモリー向けμBGAも高水準で推移し、前期を大きく上回りました。

自動車用部品は、各種センサが好調に推移したこと等に加え、ホース部品も堅調であったため、前期を上回りました。

### 2007年3月期の市場動向と業績見通し

自動車用部品は、各種センサは堅調に推移しますが、ホース部品ではパワーステアリングシステムの電動方式への移行が進むことによる需要減少が予想され、当期並みと想定しています。

化合物半導体は、主に光ディスク向けのレーザーダイオード用等の回復に加え、LED用も伸長が見込まれるため、当期を上回ると予想されます。

銅条はデジタル関連分野向けの需要回復により、当期を上回ると予想されます。

TABは、引き続き拡大が見込まれる大型液晶パネル向けのCOFの需要を確実に取り込むとともに、CSP(Chip Scale Package)用・特定用途用TABの拡販を図ることにより、当期を大きく上回ると予想されます。



モールドタイプ μBGA  
(写真提供：エルピーダメモリ株式会社)